

平成 18 年 10 月 26 日

杉並たてもの応援団
代表 田村 公一 様

杉並区都市整備部まちづくり推進課長
五十嵐 宏之

このたびは、貴重なご意見ありがとうございました。区長をはじめ、まちづくり推進課長、社会教育スポーツ課長など関係各部署で、拝読させていただきました。今回のご要望については、「杉並の面影を伝える建物」保存事業を担当しております都市整備部まちづくり推進課長がお答えいたします。

現地については、8月下旬にまちづくり推進課で見学させていただいております。見学時には、今後の予定について対外的に公表できるものは無いとのことでしたが、10月に入って、来年夏頃解体予定であること、また、現在ある建物の何かしらの記憶は残せるよう検討しているとのことご連絡をいただいております。また、再度10月23日に、その後の検討の進捗についてお尋ねしたところ、引き続き検討中とのことでした。

区としては、当該建物が大学の私有財産であり、道路からは奥まっけて外部から見えないこともあり、今後の活用等については、大学の判断にゆだねるべきと考えております。ただし、大学の検討結果によっては、新たに建築する建物に既存の記憶を残すことや、記録保存などについてもお願いする必要があると考えております。

区では、これまでも、『東京人』の杉並特集やすぎなみカレンダーへの掲載、古くは、杉並百景として選定させていただくなど、東京女子大学にもご協力いただきながら、すぎなみの魅力を区内外に発信しております。区としては、いただいたご意見を参考に、今後とも、「杉並の面影を伝える建物保存」のため努力してまいります。